



農林交流センターニュース

第513号 2021.1.5

発行：農林水産省農林水産技術会議事務局
筑波産学連携支援センターコーディネーション推進課
〒305-8601 茨城県つくば市観音台2-1-9 Tel.029-838-7136

(参加費無料)

第226回農林交流センターワークショップ参加者募集

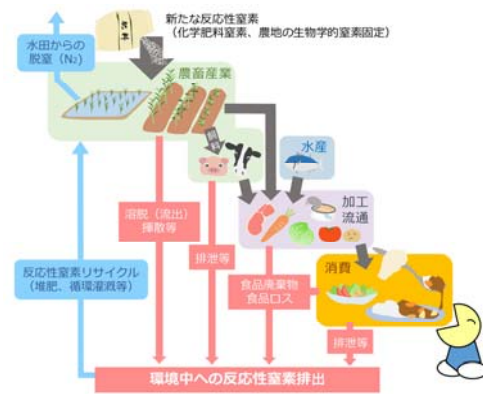
開催日：2021年3月4日（木）～3月5日（金）

土壌を介した食の窒素循環の解析手法と予測手法 (オンライン講習会)

開催趣旨

食料生産～消費（フードチェーン）システム全体を対象とした物質循環と環境負荷の把握、改善策の提示、具体的な行動への移行は、産学官全てに関わる重大な社会的課題となっており、国連SDGs（No.12：責任ある消費と生産、など）の達成にも深く関わっている。

本ワークショップでは、特に窒素に焦点をあてて、産学官から広く参加者を募り、農地土壌を介した食に関わる窒素循環とその改善策について、解析・予測技術の習得だけでなく、総合討論を行い、今後の研究交流につなげることを目指しております。



▲食に関わる窒素フローを階段状の滝に見立てた模式図



受講方法	農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センターから配信形式にて開催。インターネット環境とPCがあれば、自席からご参加頂けるオンライン形式です。
主 催	農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター
対 象	産学官の試験研究機関の研究者で、 土壌を介した食の窒素循環の解析技術に感心のある方。
募集人数	15名（参加費無料）※受講後のアンケート回答は必須です。
コーディネーター	農研機構 農業環境変動研究センター 物質循環研究領域 水質影響評価ユニット長 江口 定夫 〃 主任研究員 朝田 景

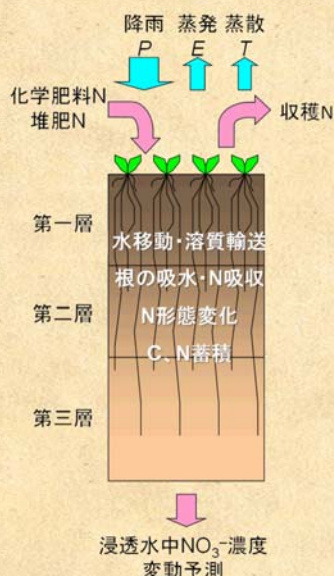
講義と実習の概要

【3月4日（木）】

10:00～10:05【挨拶】「本ワークショップについて」 江口 定夫
10:05～11:00【実習】「土壌を介した食の窒素循環、窒素フットプリント概説」 江口 定夫
11:00～12:00【実習】「土壌中の窒素動態予測モデルLEACHM概説」 朝田 景
13:00～16:00【実習】「LEACHMのWebツールによる窒素動態予測（1）」朝田 景、江口 定夫
16:00～17:00【実習】「質疑応答」 江口 定夫、朝田 景

【3月5日（金）】

10:00～11:00【実習】「食の窒素フロー、耕畜食連携システム概説」江口 定夫
11:00～12:00【実習】「食のフットプリント計算ソフトによる評価手法」江口 定夫
13:00～15:00【実習】「LEACHMのWebツールによる窒素動態予測（2）」朝田 景、江口 定夫
15:00～16:00【実習】「総合討論、質疑応答」江口 定夫、朝田 景



※オンライン講習会受講時、ヘッドセットまたはイヤホンをご用意ください。Webカメラは不要です。
また、デュアルディスプレイ（外付けモニター）をご利用頂くと、実習がより受けやすくなります。

[illegible]

農林水産省関係の国立研究開発法人等に所属している方

「農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター」ホームページから「申込書・アンケート」をダウンロードし、所属機関の窓口を通じてお申込みください。

上記以外の方（大学・公立研究機関・民間企業等に所属している方）

「農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター」ホームページの
お申し込みフォームからお申し込みください。

申込方法：左記により令和3年2月2日（火曜日）までにお申し込みください。（必着）
受講者決定：令和3年2月9日頃、メールにてお知らせ致します。

筑波産学連携支援センター ホーム

检索

★詳しくはHPをご覧ください。

《お問い合わせ先》

農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター
コーディネーション推進課 鈴木・木暮（きぐれ）

TEL:029-838-7136 FAX: 029-838-7204 E-mail: korvuy7129@cc.affrc.go.jp

農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センターホームページ <http://www.affrc.maff.go.jp/tsukuba/top>